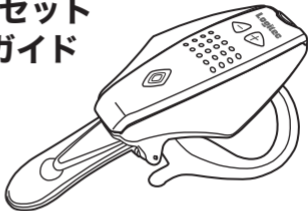


Bluetoothヘッドセット クイックスタートガイド



同梱品について

<input type="checkbox"/> 充電用ACアダプタ . . .	1個
<input type="checkbox"/> 交換用イヤーフック . . .	1個
<input type="checkbox"/> 交換用カラープレート . . .	2枚
<input type="checkbox"/> クイックスタートガイド . . .	本書
<input type="checkbox"/> Mac OS X, iChat AV セットアップガイド . . .	1冊



この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本取扱説明書では、製品の使用方法、取り扱い上の注意事項などについて記載しております。製品をご使用になる前に必ずご一読ください。また、読み終わった後もいつでも参照できるように保管しておいてくださいますようお願い申し上げます。

Apple, Mac OS, Macintoshは米国アップルコンピュータ社の商標です。BluetoothおよびBluetoothロゴは、米国Bluetooth SIG, Inc.の商標です。その他本書に記載されている機器または製品の名称は、併記されている各社の商標または登録商標です。

目次

取扱い上のご注意	1
電波に関する注意事項	6
製品の概要	7
イヤーフックの付け替えについて	9
ご使用前に	10
ペアリングの方法について	11
使用方法	12
トラブルシューティング	14
付録	16
製品仕様	17
オプション品について	18
保証書とサービスについて	20
お問い合わせについて	21

ご注意

- ①本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。
- ②本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。
- ③本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、②項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ④本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。
- ⑤本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。
- ⑥本製品に保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- ⑦弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。
- ⑧本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。
- ⑨本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

※この製品はauモバイル環境でご使用になれますが、本製品の品質等に関してKDDI株式会社が何ら保証するものではありません。

取扱い上のご注意

■本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

■表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告 この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う危険性がある項目です。



注意 この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かかに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

※マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。装置について何か問題が発生した場合は、ただちに使用を中止し、お買い求めの販売店へご連絡いただくか、弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。



警告

●万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに使用を中止し、電源を切り、充電中の場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



●自動車運転時にご使用になる場合

自動車運転時に本製品を通じて通話を行う場合は、運転に支障のないように十分ご注意ください。

長時間に渡り会話をする必要がある場合などは、「後でかけなおす」と相手に伝えて、いったん電話を切り、運転が終了してから、安全な場所で通話を行ってください。

また、都道府県の条例によっては、本製品を使用できない地域が設けられている場合がありますので、そのような地域では使用しないでください。



●正しい電源で充電してください。

充電時、ACアダプタは必ず、AC100Vのコンセントに接続してください。

また、本取扱説明書で指定する方法で充電を行ってください。注意事項をお守りにならない場合、バッテリーの寿命が著しく短くなる場合があります。



●高温のまま放置しないでください。

本製品は精密な電子機器です。高温、多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



●車の中には絶対に放置しないでください。

本製品を高温の車内に長時間放置しておくと、内部電池の破裂・発火・故障の原因となり大変危険です。



●充電には付属のACアダプタ以外使用しないでください。

本製品は内部電源にリチウムポリマー電池を使用しています。この電池は扱いを誤ると発火の危険性があります。本製品の充電には付属のACアダプタ以外は使用しないでください。異なるものを使用すると発火・故障の原因となりますので、絶対におやめください。





警告

- **充電が終わったら必ずACアダプタを取り外してください。**
また、必要な充電時間を終えても充電が完了しない場合も
いったん充電を終えてACアダプタを取り外してください。

所定の充電時間を超えて充電を行った場合、内部電池が発熱・発火・破裂する危険性があります。また、電池寿命に影響を与える場合があります。

- **着信音量の設定には十分気をつけてください。**

携帯電話とペアリングをして使用しているときに、着信音にびっくりして、事故の原因となったり、心臓に影響を与える恐れがあります

- **分解しないでください。**

本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。

※特に電源内部は高電圧が多数あり、万一、触れると危険です。

- **水気が多い場所での使用/保管は行わないでください。**

本製品内部に液体が入ると、故障・火災・感電の原因となります。また、充電時に濡れた手でACアダプタを触ると、感電の原因となりますのでおやめください。

- **小さなお子様の手の届くところに保管しないでください。**

誤飲など思わぬ事故を招く場合があります。

- **病院内や航空機の中などでは使用しないでください。**

高度な安全を要求される場所では絶対に使用しないでください。特定医療機器や航空機の計器類などの誤動作の原因となります。

- **ACアダプタの接続端子や本製品の電源コネクタ等の金属部分に触れないでください。**

故障・感電の原因となります。





注意

●充電時はACアダプタのコードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は、火災の原因となります。



●充電時はACアダプタのコードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



●本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、強い磁力の発生する場所、静電気の発生する場所などでの使用/保管は避けてください。



●車載機器と電波干渉が起こる場合は使用しないでください。
ご使用のお車により、まれに車載機器との間で電波干渉が起こる場合がございます。そのような場合は、本製品の使用を中止してください。



●充電中は本製品およびACアダプタの周りに物を置かない
てください。

発熱/発火/火災/やけどの原因となります。



●ご使用にならないときは本体の電源をOFFにしてください。

本製品は待ち受け中も電力を消費します。長期間電源がONのまま放置しておくと、実際の通話時に電池切れを起こす場合があります。



●ご使用の際は接続機器の取扱説明書の指示に従ってください。

本製品は、パソコンや携帯電話などと無線通信による使用が可能です。接続先の機器により設定方法や注意事項が異なります。ご使用の際はこれらの機器の取扱説明書をよく読み、注意事項にしたがってください。





注意

●定期的に充電を行ってください。

本製品を長期間使用しない場合でも、1ヶ月に一度を目安に充電を行ってください。

●ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



●日本国以外では使用しないでください。

この装置は日本国内専用です。他国には独自の安全規格が定められており、この装置が規格に適合する事は保証いたしかねます。また、海外からのお問い合わせに関しても一切応じかねますのでご注意ください。



●本製品を廃棄する場合

本製品は内部電池にリチウムポリマー電池を使用しています。リチウムポリマー電池はリサイクル可能な資源です。

本製品を廃棄する場合は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。お問合せ先については、本書巻末をご参照ください。





電波に関する注意事項

本製品は2.4GHz帯の無線電波を使用しています。

本製品が通信時に使用する2.4GHz帯の電波は以下の機器や無線局が使用しています。

- ・産業・科学・医療用機器
- ・電子レンジなどの加熱装置
- ・工場の製造ライン等で使用される
移動体識別用の構内無線局（免許を要するもの）
特定省電力無線局（免許を要しないもの）

そのため、以下の注意事項をお守りの上ご使用ください。

- 心臓ペースメーカーを使用している人の近くや、医療用の機器の近くでは絶対に使用しないで下さい。電波干渉を及ぼし生命に危険を与える可能性があります。
- 電子レンジなどの加熱機器のそばでは使用しないで下さい。電波干渉が発生します。
- 本製品をご使用前に本製品の周辺で移動体識別用の構内無線局または特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。本製品とそれらの無線局に電波干渉が生じた場合は、弊社テクニカルサポートにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 電波干渉が起これば、通信ができなくなったり、正常に相手の声が聞こえない、自分の声が伝わらないなどの現象が起これる場合があります。そのような場合は直ちに本製品の使用をおやめください。

その他、本製品から移動体識別用の特定省電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合等、問題が発生した場合は弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。（弊社テクニカルサポートの連絡先については、本書巻末をご参照ください）

使用周波数帯域：2.4GHz

変調方式：周波数拡散方式 FHSS（Frequency Hopping Spread Spectrum）

想定干渉距離 ...：約10m（障害物のない場合）

周波数変更の可否：全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定省電力無線局」帯域を回避可能。

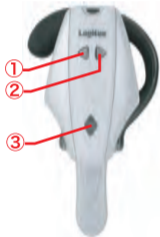
製品の概要

はじめに

本製品はBluetooth対応の耳掛け式ヘッドセットです。2.4GHz対の周波数帯域を使用し、パソコン（※）や携帯電話などとペアリングをしてご使用になる事ができます。

※本製品のサポートするOSはMac OS X 10.3以降となります。

各部の名称と機能



- ① 音量ボタン（下げる）
- ② 音量ボタン（上げる）
この2つのボタンで、ペアリング先の機器から送られてくる受話音量の調節を行います。
- ③ 電源/通話/ペアリングボタン
電源のON/OFFおよび、ペアリングの設定を行うときにこのボタンを押し続けます。
また、ペアリング確立後は、着信時、通話を開始する際にこのボタンを押します。

ポイント

各ボタンはペアリング先の機器により、特別な機能（リダイヤルや短縮ダイヤル等）が割り当てられている場合があります。詳しくはペアリング先の機器のマニュアルをご参照ください。

また、ペアリング先の機器によっては、想定されている機能と実際の動作が異なる場合がありますので、あらかじめご確認のうえご使用ください。

各部の名称と機能



- ④ イヤーフック
この部分を耳に掛けて使用します。フックの向きを反対にして付け替える事で左右どちらの耳にも装着する事ができます。
- ⑤ 充電用アダプタ入力コネクタ
本製品の充電時に付属のACアダプタを接続します。
※充電には付属のACアダプタ以外使用しないでください。

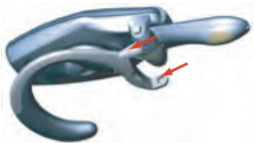
- ⑥ スピーカー
通話中の相手の声が聞こえます。

- ⑦ マイクロフォン
この部分を通して自分の声が相手に伝わります。マイクroフォンは収納式になっています。ご使用にならないときは内側に折りたたんで持ち運ぶ事ができます。



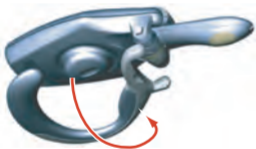
イヤーフックのつけかえについて

本製品のイヤーフックは付け替えが可能となっております。イヤーフックを付け替える事で左右どちらの耳にも装着する事ができるようになります。イヤーフックの付け替え方法は以下をご参照ください。



1.イヤーフックを手前に引くような形で取り外します。

固定されている2箇所のうち、片方を抑えながらもう片方を引くとうまく外れます。



2.イヤーフックの向きを変えることで反対側の耳に合わせることができます。



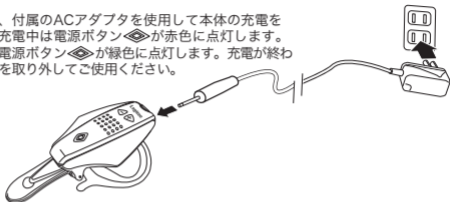
3.向きを変えたらイヤーフックを再度取り付けます。無理な力を加えないでください。

片方を先に取り付けてそこを抑えながら、もう片方を取り付けると無理な力を加えずにすみます。

ご使用の前に

充電をしてください

ご使用になる前に、付属のACアダプタを使用して本体の充電を行ってください。充電中は電源ボタン \diamond が赤色に点灯します。充電が終わると、電源ボタン \diamond が緑色に点灯します。充電が終わったらACアダプタを取り外してご使用ください。



※ACアダプタは必ず本製品に付属のものをご使用ください。異なるものを使用すると、故障の原因となります。

※バッテリーが空の状態から完全に充電するまでには約2時間半かかります。この時間を過ぎても充電が終わらない場合も、充電を止めてください。電池寿命が短くなったり故障の原因となります。

※充電中は、ヘッドセットは動作しません。

電源のON/OFFについて

電源をONにする場合

ヘッドセットの電源は、電源ボタン \diamond を5秒以上押し続けるとONになります。電源がONになると、電源ボタン \diamond が青く数回点滅します。耳に装着している場合、スピーカーから高音のブザーが2回鳴ります。この状態を確認したら指を離してください。

電源がONの状態では、電源ボタン \diamond が定期的に青色に点滅します。ペアリング状態（赤と青の点滅）から電源ON（非ペアリング状態）にする場合は、電源ボタン \diamond を1回押してください

電源をOFFにする場合

電源をOFFにする場合は、電源ボタン \diamond を2秒以上押し続けてください。電源ボタン \diamond が赤く数回点滅し、スピーカーから高音のブザーが2回鳴り、電源がOFFになります。

ペアリングの方法について

本製品をご使用になるには、ペアリング操作が必要です。携帯電話やパソコンなどのBluetooth対応機器とペアリングを行うには、下の「ペアリングの概要」を参照して、通信を行う機器側で必要な設定を行ってください。

ペアリングの概要

1. ヘッドセットの電源をOFFにしておいてください。
2. ヘッドセットの電源ボタンを7秒以上押し続けてください。
3. 電源ボタンが青色と赤色に点滅をはじめたらボタンを押すのをやめます。これでヘッドセット側がペアリングモードになりました。
4. 次にペアリングを行うBluetooth対応機器をペアリングモードにします。ペアリングモードへの操作方法については各機器のマニュアルなどをご参照ください。
5. ペアリングする機器側からはヘッドセットは「HS100C2」と認識されますので、機種選択時は「HS100C2」を選択してください。また、ペアリングを確立する際にパスコードを入力する必要がありますので、その際は数字で「0000」と入力してください。
6. ペアリングが正常に行われるとヘッドセットの電源ボタンが青色に点滅する状態になります。

※時間切れなどでペアリングに失敗した場合は、最初から操作をやり直します。

マルチペアリング機能について

本ヘッドセットは「マルチペアリング」機能がサポートされています。マルチペアリング機能とは、ヘッドセットを複数の機器で兼用する場合に、それぞれの機器との設定を一度行っておけば、たとえば携帯電話とのペアリングで使用した後に、Macintoshマシンと再設定の必要なくペアリングを行う事ができる機能の事です。

設定できる機器の台数は、最大3台までです。また、同時に複数の機器との通信ができるわけではありません。一度に通信ができるのは、あくまで1対1となります。

また、設定後に一度通信を終了してから、機器との再接続を自動で行いたい場合は、機器側が自動接続に対応している必要があります。

使用方法

必要な設定が終わったら、ヘッドセットは以下のように使用することができますようになります。

携帯電話の着信への応答

ペアリング設定済みの携帯電話が着信すると、ヘッドセットのスピーカからも着信音が聞こえるようになります。

着信時に、通話ボタン  を押すと、ハンズフリーでヘッドセットで通話することができます。

通話が終わったら再度通話ボタン  を押すと電話を切ることができます。

ご注意

- 一部の携帯電話では、着信時に通話ボタンを押す時間により、着信拒否などの特殊機能が割り当てられているものもあります。

発信の方法

携帯電話から発信するには次の3つの方法があります。

1. 携帯電話を操作しての発信

通常通りに携帯電話を操作して発信します。

発信した時点でハンズフリーの通話ボタンを押してください。

2. ボイスダイアリング機能を使用

一部の携帯電話には、音声による発信機能（ボイスダイアリング機能）が搭載されています。

本製品では、この機能を利用して、マイクロフォン経由で携帯電話を操作し、指

定した番号へ発信する事が可能です。

※この機能を利用するには、ボイスダイアリング機能を搭載した携帯電話が必要になります。


※ボイスダイアリングについての設定方法などは、お手持ちの携帯電話のマニュアルなどをご参照ください。

3. 携帯電話特有の機能を使用

携帯電話によってはさまざまな方法で発信する事ができます。通話ボタンを複数回押す事で短縮ダイヤル機能を使用できるものや、音量ボタンを両方押す事によってリダイヤルを行うものもあります。

これらについては、ご使用の携帯電話のマニュアルなどをご参照ください。

参考：ボイスダイアリングの方法

1. ヘッドセットの通話ボタンを押します。
2. ヘッドセットからボイスタグ操作を示すトーンが鳴ったら、ボイスタグとして登録した声を出してください。
3. 登録先へダイヤルされます。

ボイスダイアリングを利用するには、あらかじめ指定した電話番号にボイスタグと呼ばれる音声の登録が必要になります。ヘッドセットでは、このボイスタグを利用して携帯電話に登録された番号を発信します。

ボイスダイアリング機能のない携帯電話とペアリングを行っている場合は、この機能は使用できません。

トラブルシューティング

●Bluetooth搭載機器と本製品がペアリングできない。

- ・機器側のBluetooth機能が使用可能な状態である事をご確認ください。ペアリングモードが時間切れのため終わっている場合は、再度設定をする必要があります。
- ・ご使用の機器が本製品のプロフィールに対応しているかをご確認ください。

●ボイスダイアリング機能が使用できない。

- ・ペアリングしている携帯電話のボイスダイアリング機能が使用できる状態になっているかどうかを確認してください。ボイスダイアリング機能の利用方法についてはご使用の携帯電話の取扱説明書をご参照ください。

●本製品を使用中、ノイズやエコー音がする。

- ・ペアリング先の機器との距離を調整してみてください。
- ・音量を調整してみてください。

●携帯電話からの着信を応答しても本製品から音声が聞こえない。

- ・本製品の音量が下がっている場合があります。また、出荷時設定では低めの音量ですので、音量ボタンを使用して音量の調節を行ってください。

●ペアリング済みの携帯電話が着信しても、本製品が応答しない。

- ・一部の携帯電話では、本製品を使用するために切替操作が必要なものもあります。ご使用の携帯電話が、本製品を使用できる状態になっているかをご確認ください。

●音量が調節できない。

- ・パソコンで本製品を利用する際、一部のアプリケーションによっては音量をパソコン側で設定するものもあります。パソコン側の音量を上げる事で本製品の音量が上がる場合もありますので、パソコンの設定をご確認ください。

●パソコンで本製品を使用中に、携帯電話からの着信ができない。

- ・本製品は同時に接続できるのは1台だけです。パソコンで利用中に携帯電話が着信しても、接続されてないため、本製品側で着信する事はできません。

●本製品の装着感がゆるい。

- ・本製品はイヤーフックを利用して耳に装着します。耳の穴に入れるタイプと比較すると、装着感はややゆるくなります。
これは、本製品装着時に外部の音がある程度聞こえるように配慮したものです。外部の音が聞こえる事で、周囲の状況を把握しやすくし、行動中の安全面を考慮しています。
また、ヘッドセットには重量があるため、イヤーフックによる固定の方が耳に対しての負担も少なくなります。

ボタンの機能

◇ ボタン	電源ON/OFF	ON・ : 5秒以上押すと青色に点滅 OFF・ : 2秒以上押すと赤色に点滅
	着信応答/通話終了	◇ ボタンを1回押します
	ペアリング	電源がOFFの状態から◇ ボタンを7秒以上押します。ペアリングモードになるとボタンが青色と赤色に交互に点滅します。
◁/▷ ボタン	音量のコントロール	-/+ボタンを繰り返し押す事により適切な音量に調整します。
	ミュート/ミュート解除	-/+ボタンを2秒以上押します。 ※ただし、ご使用の機器によってはキーコードの割り当てによって使用できない場合があります。

ヘッドセットから聞こえるブザー音

電源ON・ ・ ・	ハイ・トーン（高音）2回
電源OFF・ ・ ・	ロー・トーン（低音）2回
ペアリングモード・ ・ ・	ハイ・トーン（高音）2回
着信・ ・ ・	2秒間隔のリング・トーン
ミュート・ ・ ・	3秒間隔で2回連続の低音ピープ音
ミュート解除・ ・ ・	ピープ音1回
バッテリー電力低下・ ・ ・	通話可能時間が残り3～5分になったときに鳴り始めます。（約16秒間隔）

製品仕様

機種名	LBT-HS100C2		
ワイヤレス仕様	2.4~2.480GHz ISM		
Bluetooth仕様	Bluetooth specification v1.1準拠		
周波数拡散方式	FHSS (Frequency Hopping Spread Spectrum)		
伝送距離	Class II 機器；最大半径10m (障害物がない場合)		
Bluetoothプロファイル	Headsetプロファイル、Handsfreeプロファイル Generic Accessプロファイル Service Discovery Applicationプロファイル		
アンテナタイプ	内蔵型チップアンテナ		
連続通話時間	約10時間 *1		
連続待ち受け時間	約350時間 *1		
使用環境	動作時	温度	-10℃~55℃
		相対湿度	結露なきこと
	保管時	温度	-15℃~65℃
		相対湿度	結露なきこと
入力電圧	DC 5V / 200mA ~ 500mA		
バッテリータイプ	充電式リチウムポリマー電池；3.7V / 160mA		
外形寸法 *2	92mm (長さ) × 50mm (幅) × 26mm (高さ)		
質量	26g		

- *1 充電状態や、外部環境により短くなる事があります
 *2 本体のみ、突起部を除く

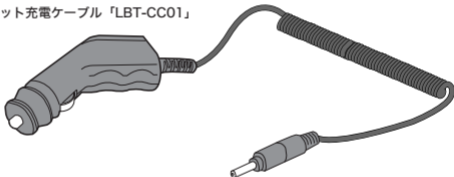
オプション品について

弊社では、車内で本製品の充電が可能な「シガーソケット充電ケーブル」を別売のオプション品として取り扱っております。

型番	名称	備考
LBT-CC01	シガーソケット充電ケーブル	12V車専用

※ 外国産車や、国産車の一部ではシガーソケットの形状が適合しない場合がありますので、ご注意ください。

シガーソケット充電ケーブル「LBT-CC01」



オプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店または、ロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求めください。

ロジテックダイレクトホームページ： <http://www.logitec-direct.jp>

※インターネットに接続できない場合は、弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。